

上伊那テクノバレー地域産業活性化基本計画

計画のポイント

上伊那地域8市町村並びに県、産業支援関連機関等が一体となって、本地域において“強み”を発揮する産業である①「高度加工技術産業」、②「健康長寿関連産業」③「情報関連産業」の3つの産業を基軸とした既存企業の高度化並びに新增設等の新たな企業立地や設備投資等を積極的に促し、本地域の産業活性化並びに持続的かつ自律的な発展を可能とする基盤を形成するため集中的に取り組む5年間とする。

1. 集積区域 上伊那地域8市町村
(伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村)

2. 集積業種
①高度加工技術産業 ②健康長寿関連産業 ③情報関連産業

3. 集積区域における集積業種に係る成果目標
(目標:平成29年度)
○粗付加価値額増加額 159億円 ○新規立地件数 52件
○製造品出荷額増加額 338億円 ○従業者数増加数 1,207人

4. 目標に向けた事業環境整備等

- 工場用地等の整備
 - ・空き工場建屋、遊休地等の情報収集及び活用
 - ・貸し事業所(貸工場・貸事務所等)整備検討
 - ・廃校舎や古民家など遊休施設の利活用
- 人材育成・確保
 - ・人材育成支援(企業ニーズに対応した支援プログラムの検討)
 - ・人材確保支援(U・I・Jターン支援、企業OBの活用に向けた連携)
 - ・工科系高等教育機関の設置
- 技術支援等
 - ・「伊那技術形成センター」の機能拡充・強化の検討
 - ・技術高度化による成長産業分野への進出促進支援
- 事業環境整備
 - ・優遇制度拡充の検討
 - ・「上伊那テクノバレーマップ」(仮称)の作成検討
 - ・地域アドバイザー等の連携推進
 - ・伊那谷アグリノベーション推進機構(仮称)との連携により、農業を基本に新たな産業創出を目指す

①高度加工技術産業

トップクラスの精密機械関連、電気・電子機械関連およびその周辺産業のさらなる集積を図る

②健康長寿関連産業

食品、飲料品、医薬品、大学・各種研究機関、医療機関等による「農工連携」、「医工連携」、観光業と連携した医療ツーリズムの推進などにより、「健康長寿関連産業」の集積を図る

③情報関連産業

内陸、固い地盤、中央リニア新幹線などの条件を活かし、情報サービス業やインターネット関連産業、デザイン業の集積を図る

